

神戸船業組合組合長中村徳藏氏より 同會會員に發送せられたる勸告書

當組合員中船夫拂賃金を歩合に依りて定むるものありては從來船主と船夫間に於て任意協定する習慣なりし爲各船主毎に船夫支拂歩合を異にし區々に相成居候處今般歩合船夫代表者たる神戸海友同志會並に船夫共助會より當組合に對し右歩合の統一斡旋方請求し來り候に付本年四月二十日開會の組合總會に於て委員を選定し慎重審議の結果別紙協定書寫の通り決定致候に付組合員は爾後右標準に依り御支拂ひ相成券券間の圓滿協調を圖られ候様致度此段勸告申上候也

昭和七年 月 日

神戸船業組合

組長 中村 徳藏

組合員殿

五月二十四日開催の歩合船夫大會に於て選ばれたる二十名の委員會に於て作製せられたる暫定的統制機關案

神戸運輸協同會規約(草案)

一一

- 第一條 神戸船業組合及神戸海友同志會ハ神戸運輸事業ノ健全ヲ發達ス資スルノ目的ヲ以テ神戸運輸協同會ヲ設立ス
- 第二條 本會ハ委員會ノ決議ヲ經テ前條ニ掲グル員外ノ荷主及ビ船主又ハ船員船夫ノ團體ノ本會ニ加盟セシムルコトヲ得
- 第三條 本會ハ左記事業ヲ行フ
 - 一、船員船夫ノ職業紹介
 - 二、船員船夫ノ待遇ニ關スル事項ノ協議決定
 - 三、荷主及船主、船員船夫間ノ爭議ノ豫防及調停
 - 四、其ノ他第一條ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル事業
- 第四條 本會ハ本部ヲ神戸市ニ設クル必要アルトキハ委員會ノ決議ヲ經テ其ノ他ノ地ニ支部ヲ設クルコトヲ得
- 第五條 本會ノ財源ハ會費、寄附金其ノ他雜收入ヲ以テ之ニ充ツ
- 第六條 本會ノ組織及船員船夫團體以下双方團體ト稱ス均等ニ之ヲ負擔ス其ノ額ハ別ニ之ヲ定ム
- 第七條 本會ニ代表シ會務ヲ總轄ス
- 第八條 本會ハ各委員會ノ議長トナル會長事務放アルトキハ其ノ屬スル團體ノ選出スルモノヲ臨時ニ議長ニ推ス
- 第九條 本會ニ委員會ヲ置キ會長ハ重要ナル會務ヲ審議決定スル爲毎月一回會議ヲ開クコトヲ要ス
- 第十條 特別ノ事由ニ依リ會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘

ラズ臨時會議ヲ開クコトヲ得委員四分ノ一以上ヨリ請求アリタルトキハ會長ハ臨時ニ會議ヲ開クコトヲ要ス

第八條 委員ハ双方團體員中ヨリ各六名ヲ選任ス

委員事務ノ爲會議ニ出席スルコト能ハザルトキ又ハ第六條第三項ノ規定ニ依リ議長トナリタルトキハ其ノ委員ノ屬スル團體ヨリ代理者ヲ出スコトヲ得

第九條 委員會ノ議長ハ小形船員又ハ解船夫ノミニ關スル事項其ノ他各種ノ事項ヲ審議セシムル爲小委員會設クルコトヲ得

第十條 委員會ハ双方團體ノ委員各半數以上出席スルニアラザレバ議事ヲ行フコトヲ得ス出席セル双方團體ノ委員各半數以上ノ多數ヲ得レニアラザレバ決議ヲ爲スコトヲ得ス

議長ハ表決ニ加ハラズ

第十一條 議事ニ付可否決定セザルトキハ双方團體ノ協定ニ依リ選任シタル仲裁人ニ之ヲ附託スルモノトス

第十二條 會長ハ委員會ノ決議ヲ經テ双方團體ノ委員中ヨリ各一名ノ幹事ヲ指名シ會務ヲ處理セシム

會長ハ委員會ノ決議ヲ經テ書記其ノ他事務員ヲ任命シ會務ニ從專セシムルコトヲ得

第十三條 本會ニ會計監査員ヲ置キ本會ノ會計ヲ監査セシム會計

右の如き我等の暫定的運賃統制機關案は不幸にして時機尙早の故をもつて、船主側の容れられざる處となつたが、我等は爭議解散式に於て左の如き聲明書を發し、その目的の達成せられるまでは、この運動を執拗に繼續する事を申し合せて。

一三

第十四條 本會ハ神戸ニ事務所ヲ設ケ荷主船主間及船主船員船夫間ノ貨物運賃金ノ取立及支拂ヒノ事務ヲ執リ必要アルトキハ委員會ノ決議ヲ經テ其ノ他ノ地ニ之ヲ設クルコトヲ得

會長ハ委員會ノ決議ヲ經テ事務所ノ職員ヲ任免ス

第十五條 會長委員幹事及會計監査員ノ任期ハ各一年トシ決算委員會ニ於テ事務ノ引繼ヲナス

但シ補缺ノ爲就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ就任期間トス

第十六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

會長ハ各期末ニ於テ事業報告書及收支計算書ヲ作製シ五月申ニ決算委員會ヲ召集シテ其ノ承認ヲ受クベシ

第十七條 本規約ハ委員全部ノ同意アルニアラザレバ之ヲ變更ナラスコトヲ得ス

第十八條 本規約ノ實行ニ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

第十九條 第一回ノ會長委員幹事及會計監査員ノ任期ハ昭和八年五月ノ決算委員會ヲ以テ終ルモノトス

以上